



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃん News



令和8年3月25日発行 第14号
多摩市聖ヶ丘1-17-1
電話 042-374-8111
発行者 校長 西田 良児

年度末を迎えて

校長 西田 良児

春の気配を色濃く感じるとともに、子どもたちの表情からもこの一年の成長を感じることができる年度末となりました。3月18日には高等部卒業式が行われ、37名の生徒が社会へと旅立っていきました。また、3月23日には小学部・中学部の卒業式を実施、そして本日令和7年度の修了式を迎えました。

今年度の歩みを振り返りますと、日々の教育活動が安全に、そしてあたたかな雰囲気の中で進められたことに大きな感慨を覚えます。これもひとえに、保護者の皆さまの深い御理解と御協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

本校では、児童・生徒一人ひとりが自分らしく学び、生活できるよう、障害特性に応じた丁寧な支援を積み重ねてまいりました。個別指導計画に基づく日々の学習支援、健康面や行動面へのサポート、そして進路に向けた取り組みなど、教職員は子どもたちの「その時々」をしっかりと受け止めながら、ともに歩んでまいりました。

教室や活動の場面で、小さな成功をきっかけに子どもたちの表情が明るくなる姿を数多く見ることができました。ときに困難に直面することもありましたが、そのたびに周囲の励ましや支えを受けながら自分のペースで前へ進む力を育ててきました。こうした一步一步の成長こそが本校の教育の大きな喜びであり、教職員にとっても励みとなっています。

また、保護者の皆さまには、日々の連絡調整や健康管理、送迎や家庭での支援など、学校と連携しながらお子さまを支えていただきました。行事や学習場面への参加、家庭との情報共有などを通して、学校と家庭がつながり合えたことは、子どもたちの安心感や挑戦意欲につながる大切な力となりました。改めて深く感謝申し上げます。

次年度も、学校・家庭・地域がしっかりと手を取り合い、児童・生徒が安心して学び、成長できる環境づくりをさらに進めてまいります。個に応じた教育の充実、コミュニケーションの支援、生活や進路を見据えた教育などを一層充実させ、子どもたちが「多摩桜が自分の居場所だ」と感じられる学校であり続けたいと考えております。そして、互いにつながり、支え合う関係性を大切にしながら、次の一年も希望をもって歩んでいければと思っております。

年度末のお忙しい時期とは存じますが、どうぞお子さまの一年の成長をご家庭でも温かく振り返っていただければ幸いです。皆さまにとって穏やかに健やかな春休みとなりますことを心よりお祈り申し上げます。